

2024（令和6）年度 国際版画美術館 事業報告書【展覧会版】

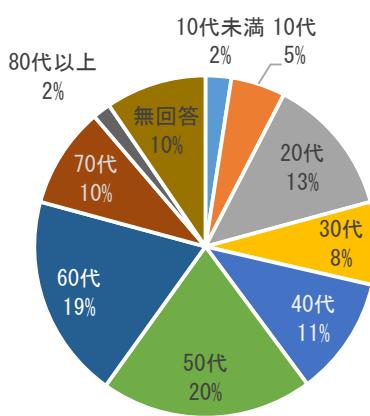
展覧会名	両大戦間のモダニズム：1918-1939 煌めきと戸惑いの時代			担当者名	高野詩織
会期	2024年9月14日（土）～12月1日（日）			開催日数	68日間
協賛・後援・協力	なし				
巡回館	なし				
展覧会概要	第一次世界大戦と第二次世界大戦の狭間にあたる「両大戦間」という時代に焦点を当てた、収蔵品を中心とする展覧会。新しい社会への期待感と不安感がせめぎ合う時代を「煌めきと戸惑い」というキーワードで表現し、自動車やアール・デコのファッショナブルなインスピレーションを得た現代への賛美ともいえる作品や、戦争の惨禍を深く刻み込んだ作品、近代化への抵抗を表現した作品など約230点を展示。全4章で構成し、フランスを中心に、アメリカ、ドイツ、ロシア、日本の版画と印刷物を幅広く紹介した。				
ねらい・対象	戦争や経済不安によって国際秩序が揺らいでいる現代、第二次世界大戦の勃発直前にあたる時代が注目を集めている。本展では、社会の変革期に創作活動を続けた名だたるアーティストの版画や、絵本、雑誌等の大衆的な印刷物を展示することで、これらの資料の今日的な意味を考える機会とすることを企図した。				
関連催事	催事名	開催日	タイトル	講師等	参加者数
	記念講演会	10月12日（土）	両大戦間のファッショナブルな版画 — ファッション・プレート史を踏まえて —	能澤慧子氏 (東京家政大学名誉教授)	72
	こどものための鑑賞会	11月9日（土）		富田めぐみ氏 (NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	29
	プロムナード・コンサート	9月21日（土）	煌めきの奏者たち	桜美林大学芸術文化学群 玉川大学芸術学部	140
	ギャラリートーク	9月29日（日） 11月2日（土）		高野詩織（担当学芸員）	65
	第26回ゆうゆう版画美術館まつり関連イベント	10月27日（日）	ステンシルで作品を完成させよう！	川添愛奈 (美術館教育担当学芸員) 高野詩織	80
観覧料	一般	大・高生	中学生以下	無料日	
	800円	400円	無料	・初日：9/14 ・文化の日：11/3 ・シルバーデー（満65歳以上無料）：9/25、10/23、11/27	
観覧者数	有料計	無料計	総観覧者数	内、一般	内、大・高生
	6,848人	2,715人	9,563人	8,794人	521人
	目標値				248人
主な収入	観覧料収入	図録販売収入	受託販売収入	その他の特定財源	
	4,364千円	2,596千円	999千円	0千円	
事業経費	・講師謝礼		110千円		
	・事業協力謝礼		28千円		
	・著作権使用申請委託料		65千円		
	・設置・撤去委託料		721千円		
	・作品額装委託料		643千円	6,978千円	
	・広告・宣伝委託料		682千円		
	・ポスター等作成委託料		3,547千円		
	・ディスプレイ作成委託料		1,138千円		
	・イベント企画運営委託料		44千円		
主な広報・取材等	【テレビ】「地モトNEWS」（イツツコム） 【雑誌】『美術の窓』、『アートコレクターズ』、『江戸楽』、『散歩の達人』、『ブレーン』、『都政新報』他 【ウェブ】「美術手帖」、「美術散歩」、「Fashion Press」、「IM（インターネットミュージアム）」、「MORE」他				

2024（令和6）年度 国際版画美術館 アンケート集計結果【両大戦間のモダニズム】

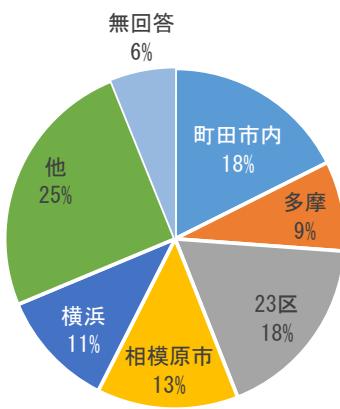
開催期間：2024年9月14日（土）～12月1日（日）

回答者数：409人（総入館者数：9,563人 アンケート回収率：4.3%）

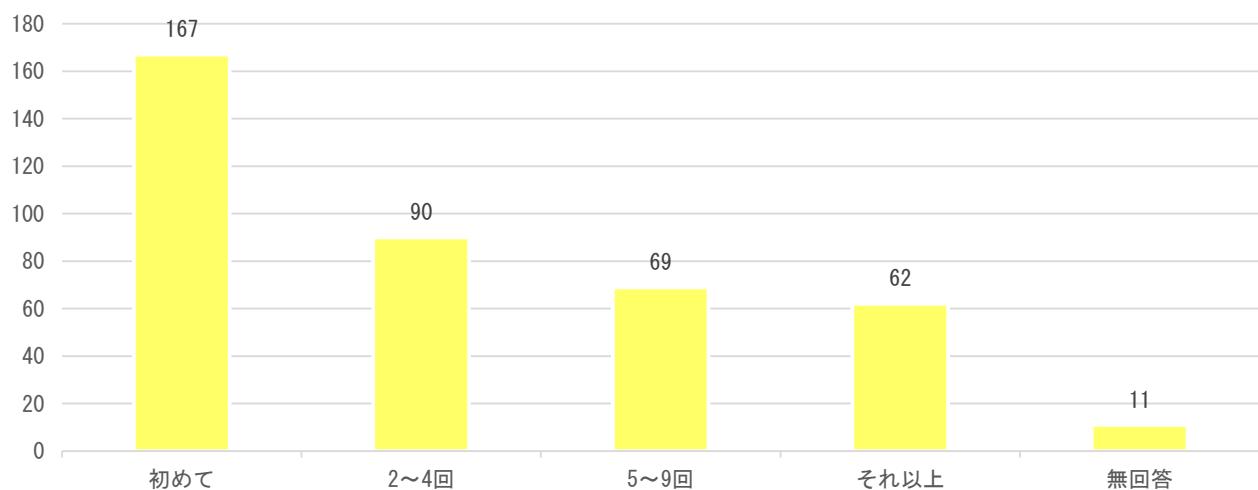
1. 年齢層



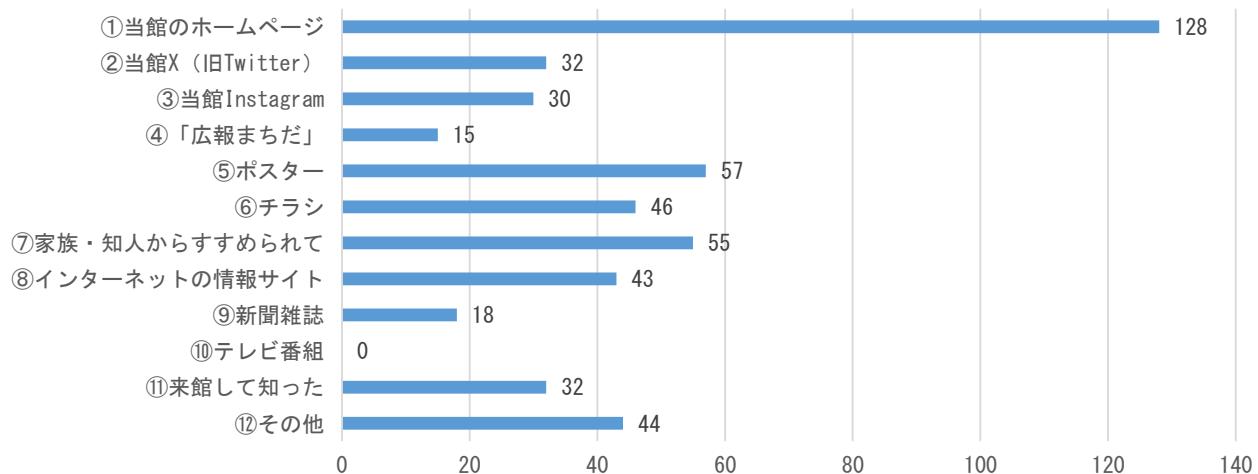
2. 住まい



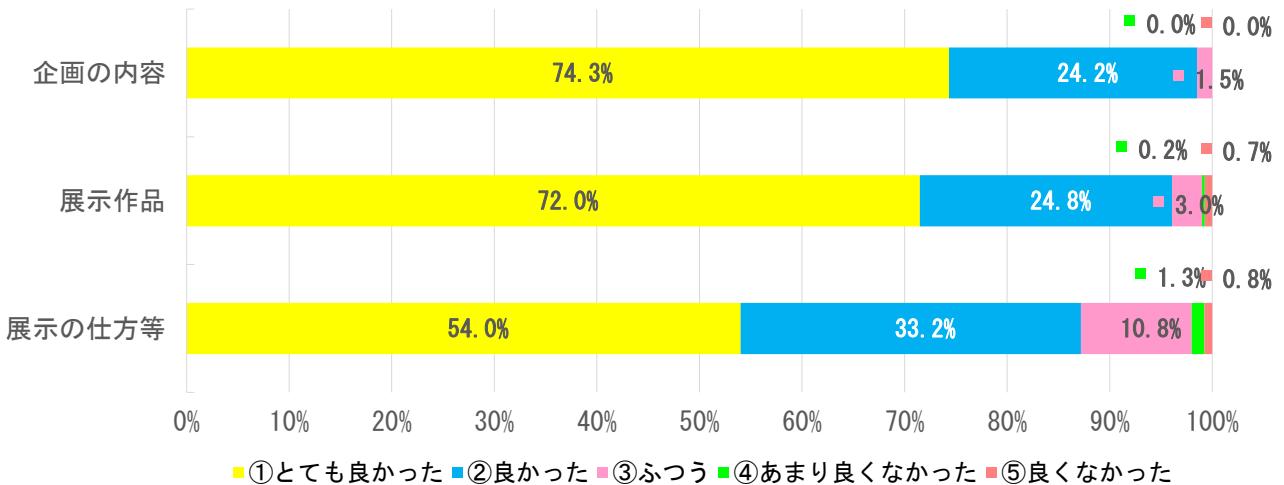
3. 来館回数（人数）



4. 展覧会情報の入手（人数）



5. 回答者の満足度



6. 主な意見・感想

- ◆モダニズムの流れが見られる展示、とても良かったです。原画や原本が数多く、色彩も良く残っていることに嬉しく思いました。
- ◆戦時中の苦しみ、体験を伝える作品から戦間期の明るい狂乱の時代を描くもの、そして戦後平和を願う作品が混在する展示は斬新で面白い。
- ◆この時代の作品について、今まで思っていなかった戦争の影という視点を持って展示されていることに興味を持ちました。はなやかさだけでなく、人々の心に重く静かにたまっていく現代にも通じる戦争や社会問題をみつめ直す機会になりました。
- ◆コレクションの素晴らしさに驚きました。
- ◆知らない作品たくさん知れてよかったです。
- ◆市立美術館とは思えないとても充実した展示でした。
- ◆広告からしてすばらしい絵で期待ふくらみかんじようしてきたい以上でした。
- ◆学芸員による解説がわかりやすく参考になった。
- ◆キャプションのフォントや大きさが非常に読みやすいです。

(以下は要望等の意見)

- ◇版画について自分は素人なので技術の説明を図説キャプション等で入れてくれると、さらに来館者の理解が深まると思います。
- ◇展示物の高さがもう少し低いと子どもにも見せてあげられるのに、と残念に思いました。
- ◇回線がすごく悪いと思います。ここはもう何回目ってきましたが、携帯の電波はなかなかとどかない。作品に関する資料が探す時もできません。館内の無料Wifi設置又は回線改善ほしいです。
- ◇ロッカーが不足だと思います。全部ふさがっていました。シニアサービスデーだから?大きい荷物の方が気の毒でした。
- ◇送迎バスが定員になり乗れませんでした。シニアの日は増便していただけるとありがたい。100円の有料でかいません。
- ◇浮世絵と海外の作品とのコラボが見たいです。
- ◇今後シャガールの展覧会を是非催して欲しいと願っています。